

## ● 佐佐木幸綱選

☆台北の街角に見る繁体字のどれも懐かし鐵、  
縣、號、區 (三浦市) 秦 孝浩

お祭りの寄付を求めて衣装を着た子らが微笑む  
古里の夏 (八戸市) 八木田恵子

ひとりには広すぎる家どの部屋もあなたの気  
配が濃くただよへる (岩国市) 木村 桂子

それなりのセーフティネットのある国で年  
に二万の自死は切ない (東大阪市) 池中 健一

娘婿が七人乗りの車買い、孫が家族七人の席  
決める (稲沢市) 山田 真人

☆代金を小銭で払うと云う客を断れぬうちは零  
細食堂 (宇部市) 小河原靖子

早朝の庭をよぎるは痩せ狐荒れて汚れた毛並  
みのままに (札幌市) 仁和 優子

万歳とちらし寿司で退院の夫を迎える夏の玄  
関 (酒田市) 富田 光子

庄内の米どころにて生れたるに名は「田美  
子」なりと笑くば見せる人

(神奈川県) 富田 茂子  
ポンと肩叩かれ入る踊りの輪見知らぬ顔の増  
えたふること (厚木市) 北村 純一

【評】第一首、「繁体字」はいわゆる正字のこと。日本ではほとんど見るものがなくなってしまった。第二首、お祭りの衣装を着た子供たちが家々を訪問するのだ。第三首、夫君に先立たれた後の空虚な感じ。分かる気がする。

## ● 高野公彦選

授業中「天網恢恢」板書する戦続ける誰彼思  
つて (朝霞市) 青垣 進

子と住めど一人一人と割り切つて見猿言わ猿  
聞か猿の日々 (東京都) 鈴木真理子

特攻の悲劇を学んだ娘は悼み知覧茶買いてわ  
れに持ち来る (長野市) 関 龍夫

酷暑でなく克暑と書いて壁に貼る九十一にな  
った祝いに (鳥取県) 表 いさお

美辞麗句中学生に教ふるに好き例ならむ「骨  
太の方針」 (東京都) 上田 国博

☆台北の街角に見る繁体字のどれも懐かし鐵、  
縣、號、區 (三浦市) 秦 孝浩

初めてのウルトラマラソン100キロを走る  
夫の位置示す点 (奈良市) 山添 聖子

飲み会は二回に一度断るがガザ地区の子に寄  
付する友は (仙台市) 沼沢 修

被災して炊出しカレー食べている熊本の子ら  
の笑顔が救い (札幌市) 佐久間優子

ばくがねえ大きくなったらばあちゃんをおん  
ぶするよと背で言う孫 (東京都) 村上ちえ子

【評】1首目、老子の「天網恢恢疎にして漏らさず」を板書しつつ、プーチンやネタニヤフらの運命を思う。2首目、仲良く暮らすための智慧。3首目、特攻隊の基地があった鹿児島県の知覧はお茶の名産地。4首目、「暑に克つ」の心意気。